

NEWS RELEASE

デジタルガレージ、次世代不動産取引の DX エンゲージメントプラットフォーム「Musubell」が分譲マンション管理会社向けサービスを開始

～第一弾は重要事項調査報告書のオンライン申し込みサービスを提供。

管理会社と仲介会社の業務負担を削減～

株式会社デジタルガレージ（東証プライム 4819、本社：東京都渋谷区、代表取締役 兼 社長執行役員グループ CEO：林 郁 以下：DG）は、国内最大級の次世代不動産取引の DX エンゲージメントプラットフォーム「[Musubell（ムスベル）](#)」の新サービスとして、「Musubell for 管理」を 2024 年 1 月より開始します。第一弾として、不動産仲介会社から管理会社へ依頼する「重要事項調査報告書」のオンライン受付、承認、送付機能、[株式会社 DG フィナンシャルテクノロジー](#)が提供する「[VeriTrans4G](#)」のクレジットカード決済機能を搭載したオンライン申し込みサービスを提供します。



近年、分譲マンション管理会社が管理しているマンションには、国内で約 12 万棟、約 636 万世帯*の方が暮らしています。管理会社はさまざまな管理物件が増える一方、紙や電話での報告業務の増加や、マンション管理を行う管理人不足により、組合への早急な管理業務全体の DX 化が求められています。

今回、「Musubell for 管理」の第一弾として、「重要事項調査報告書」のオンライン申し込みサービスを提供し、調査報告書を必要とする仲介会社と、発行する管理会社の業務負担削減を行います。現状、仲介会社では電話や FAX、専用フォームで仲介会社から調査書の依頼を行い、同時に書類作成にかかる費用を管理会社指定の金融機関に振り込み、振込票を管理会社に送付、管理会社は書類作成後に社内回覧を行い、承認後に郵送にて書類を送付しているケースが多く見られます。

「Musubell」を活用することにより、オンライン経由で仲介会社からの依頼の受け付け、クレジットカードによる決済を行い、社内運用フローに沿った書類の社内承認、仲介会社のマイページへの格納を行うことが可能となります。

また、管理会社が各仲介会社からの依頼ごとに振込票にて行う入金管理を「Musubell」が収納代行することで、経理業務の工数削減を実現できます。



NEWS RELEASE

■ 「Musubell for 管理」 提供の狙い



不動産業務を効率化するDXエンゲージメントプラットフォーム



昨今、さまざまな業界において DX 化の波が訪れる中、不動産業界においても業務のデジタル化の機運が高まっています。一方、複数のデジタルツールを導入した結果、マルチタスクによる業務負荷が発生する例が多く、多くの不動産企業で見受けられます。

「Musubell」は、不動産販売・管理を中心とする業務のプラットフォームとして、これらの課題を解決するべく、自社サービス内での連携も強化を行います。

「Musubell for 管理」では第一弾として、重要事項調査報告書の作成による仲介会社、管理会社間の業務負荷の削減を行います。来春にこれまで新築、仲介領域で実績のある電子契約や組合、業務委託先等との各種書類のやりとりをオンライン化し、ペーパーレス化による保管費用や郵送費の削減を実現します。

今後も「Musubell」は不動産会社の業務負担の削減、契約者、入居者の手間を削減し、不動産業界全体のプラットフォームとしてさらなる成長を目指してまいります。

*参照: 「一般社団法人マンション管理業協会 [令和4年マンション管理受託動向調査結果]」